

# 第12回 東北風景街道協議会 【議事録（要旨）】

1. 日時  
令和3年2月4日（木）14:00～15:20
2. 場所  
TV会議（東北地方整備局12階大会議室－管内各事務所）
3. 配布資料
  - 次第
  - 出席者名簿
  - 席次表（東北地方整備局）
  - 東北風景街道協議会規約
  - 資料1「事務局からの報告」
  - 資料2「各ルートからの活動報告」
  - 資料3「意見交換テーマ」
4. 出席者 ※詳細は次頁に示す。  
 東北風景街道協議会 委員 15名  
 パートナーシップ団体 12団体  
 TV会議接続先 13カ所  
 事務局（東北地方整備局） 5名

（図中：敬称略）

## 第12回 東北風景街道協議会 出席者名簿 【令和3年2月4日】

■出席者：委員15名、パートナーシップ12団体、12事務所、事務局



## 第12回東北風景街道協議会 出席者名簿

出席者:委員15名、パートナーシップ12団体、12事務所、事務局

所 属	氏 名
<b>■東北地方整備局</b>	
委員 東北六県商工会議所連合会 常任幹事 (代理)仙台商工会議所 中小企業支援部 部長	白鳥 裕之
委員 (株)東北地域環境研究室 代表	志賀 秀一
委員 河北新報社 営業局次長兼業務推進部長	鈴木 裕
委員 (一社)東北経済連合会 副会長	(協議会会長) 藤崎 三郎
委員 (一社)まちの魅力づくり研究室 理事/東京大学 名誉教授	堀 繁
委員 (公社)日本観光振興協会東北支部 支部長	三林 宏幸
委員 (一社)日本旅行業協会東北支部 支部長 (代理)事務局長	稲林 誠司
委員 東北地方整備局 道路部長	小田原 雄一
委員 宮城県土木部長 (代理)次長	三浦 晃
委員 仙台市建設局長 (代理)道路部道路計画課長	河西 義人
事務局 東北地方整備局 道路部 道路調査官	折笠 徹
事務局 東北地方整備局 道路部 道路計画第二課 課長	大澤 尚史
事務局 東北地方整備局 道路部 道路計画第二課 課長補佐	伊藤 英和
事務局 東北地方整備局 道路部 道路計画第二課 計画係長	関 長英
事務局 東北地方整備局 道路部 道路計画第二課	佐藤 大輝
<b>■青森河川国道事務所</b>	
委員 青森県県土整備部長 (代理)道路課長	永澤 親兼
PS 青森エントランスロード	對馬 永一
PS 青森エントランスロード	北澤 匠
PS 十和田奥入瀬浪漫街道	高瀬 英夫
PS 十和田奥入瀬浪漫街道	原 新一
事務所 青森河川国道事務所 副所長	小笠原 清
事務所 青森河川国道事務所 調査第二課 課長	葛西 弘樹

所 属		氏 名
事務所	青森河川国道事務所 調査第二課 施策分析評価係長	工藤 貴義
事務所	青森河川国道事務所 調査第二課 施策分析評価係長	船水 浩介
■岩手河川国道事務所		
委員	岩手県県土整備部長 (代理)道路建設課・計画調査担当課長	北館 康弘
PS	巢子の松街道	浅沼 晟吾
PS	広瀬川せせらぎ緑道	山下 正彦
事務所	岩手河川国道事務所 調査第二課 地域連携係長	佐々木 技
■三陸国道事務所		
PS	釜石「鉄のみち」	海野 伸
PS	釜石「鉄のみち」	吉田 基
事務所	三陸国道事務所 調査第一課 課長	松村 秀男
事務所	三陸国道事務所 調査第一課 設計係長	阪本 視典
事務所	三陸国道事務所 調査第一課	小松 雅弥
事務所	三陸国道事務所 総務課 専門官	三浦 克己
■仙台河川国道事務所		
事務所	仙台河川国道事務所 副所長	外崎 高広
事務所	仙台河川国道事務所 調査第二課 課長	岩館 慶多
事務所	仙台河川国道事務所 調査第二課 地域連携係長	菊池 力也
■秋田河川国道事務所		
委員	秋田県建設部長 (代理)道路課政策監	高野 優
PS	菅江真澄と巡るあきたの道	鎧 啓記
事務所	秋田河川国道事務所 副所長	五十嵐 一之
事務所	秋田河川国道事務所 計画課長	渡辺 信悦
事務所	秋田河川国道事務所 調査第二課長	岩澤 功英
事務所	秋田河川国道事務所 計画課 地域連携係長	武田 康孝
■湯沢河川国道事務所		
事務所	湯沢河川国道事務所 副所長	岡本 守

所 属		氏 名
事務所	湯沢河川国道事務所 保全対策官	佐々木 慎
■能代河川国道事務所		
PS	のしろ白神の道	能登 祐子
事務所	能代河川国道事務所 副所長(道路)	佐藤 幸喜
事務所	能代河川国道事務所 調査第二課 課長	佐々木 和嗣
事務所	能代河川国道事務所 調査第二課 調査係長	久留嶋 智一
事務所	能代河川国道事務所 調査第二課	大坊 美寿紗
■山形河川国道事務所		
委員	山形県県土整備部長 (代理)道路整備課長	工藤 哲
PS	みちのくおとぎ街道	黒金 千穂
PS	みちのくおとぎ街道	佐藤 康介
PS	越後米沢街道・十三峠	遠藤 芳昭
事務所	山形河川国道事務所 調査第二課 課長	渡辺 央
事務所	山形河川国道事務所 調査第二課 専門員	川口 猛
■酒田河川国道事務所		
事務所	酒田河川国道事務所 調査第二課 課長	坂田 亨
事務所	酒田河川国道事務所 調査第二課 専門員	山本 雄一朗
■福島河川国道事務所		
委員	福島県土木部長 (代理)道路計画課長	小野寺 豊
PS	桑折宿まちなか街道	畠腹 桂子
PS	桑折宿まちなか街道	渋谷 浩一
事務所	福島河川国道事務所 調査第二課 課長	佐藤 優
事務所	福島河川国道事務所 調査第二課 調査係長	加賀 剛道
事務所	福島河川国道事務所 計画課 課長	高橋 正晴
事務所	福島河川国道事務所 計画課 専門員	吉田 政雄
■郡山国道事務所		
PS	城下町あいづ道草街道	庄司 裕

所 属		氏 名
PS	城下町あいづ道草街道	目黒 章三郎
事務所	郡山国道事務所 調査課 課長	北見 淳
事務所	郡山国道事務所 調査課 専門調査員	山内 健広
■磐城国道事務所		
PS	ふくしま浜街道ハッピーロード	西本 由美子
PS	ふくしま浜街道ハッピーロード	鯨岡 秀子
事務所	磐城国道事務所 事務所長	入谷 貴也
事務所	磐城国道事務所 調査第二課 建設専門官	芳賀 俊之

PS: 各ルートのパートナーシップ

## 5. 議事

### (1) 開会

### (2) 挨拶

東北地方整備局 道路部長より挨拶

東北風景街道協議会 会長より挨拶

### (3) 議事

#### ①事務局からの報告

(堀委員：(一社)まちの魅力づくり研究室 理事/東京大学 名誉教授)

- ・ 道の駅は集客施設であり、発生したお金は活動の資金に充てることができるため、風景街道の団体が連携することは非常に大切である。
- ・ また、活動拠点をもっていない団体にとっては道の駅を活動拠点として活用できる。
- ・ 今まで多くの団体は活動原資がなく活動が停滞し、いかに活動費を稼ぐかが大きなテーマであった。
- ・ 道の駅の販売費を風景街道の活動資金に充てられるということについて、サゼッションやアドバイスなどを行っていけないか。前向きに掘り下げていただきたい。

(能登氏：のしろ白神の道)

- ・ 収益がないと活動が難しくなるが、道の駅との連携については具体的に何に力をいれていくかがなかなか不明であると感じている。今後は販売に力を入れていかなければと思っている。
- ・ 我々のコースは街中のため、少し離れた道の駅とどのように連携できるかが課題である。

## ②ルートの活動事例発表

【発表】※詳細は資料2参照

【ルート名】 のしろ白神の道

【質疑応答】

(庄司氏：城下町あいづ道草街道)

- ・ 能代市にはJR五能線があり、非常に活気を呈している。
- ・ このJR五能線とのしろ白神の道が連携したイベントをすることはできないか。
- ・ 現在、国道252号に道の駅を造るため、準備会を立ち上げたところである。
- ・ 地元のカメラマン達が、只見川やJR只見線の四季をテーマとした写真を全世界に向けて発信している。
- ・ 只見川（河川）とJR只見線（鉄道）、そして風景街道（道路）が一体となり、この三本の矢で、地域を盛り上げられるのではないかと検討を進めている。
- ・ のしろ白神の道とは今後も情報交換をしてきたいと考えている。

(能登氏：のしろ白神の道)

- ・ これまで、道路と人を繋ぐために活動をしてきた。そのため、JRとの連携は考えていなかったが、今後活動の視点としていれてもいいのではないかと思う。
- ・ 他のまちづくりに関する取組では、JRと連携したイベント等を行っている。風景街道でもその視点を活用し、JRとの連携を図ることはできると思う。
- ・ 現在、そちらの街道とは姉妹街道を提携しており、今後とも連携していくことができればと思っている。

(事務局)

- ・ 道の駅との連携について、販売等の情報収集を行い各団体へ提供したいと思っている。

【ルート名】 みちのくおとぎ街道

【質疑応答】

(庄司氏：城下町あいづ道草街道)

- ・ イベントの費用はどのように捻出しているのか。

(黒金氏：みちのくおとぎ街道)

- ・ 協議会に加盟している団体から負担金をいただき活動費用としている。
- ・ 「ぐる麺ライド2019」について、日本競輪協会から補助金をいただき、その他は参加者から負担金をいただき開催した。

【ルート名】 桑折宿まちなか街道

【質疑応答】・ 特になし

### ③意見交換

(堀委員：(一社) まちの魅力づくり研究室 理事／東京大学 名誉教授)

- ・ 各ルートの情報共有・交換が大切であり、そのような機会を設けるべきである。今までの協議会は仙台へ来るのにお金がかかるため、なかなか団体が参加できなかったと思う。今回はWeb開催のため、多くの団体が参加することができた。よい面もある。
- ・ 情報の共有・交換のできる機会を一年に一回ではなく、半年に一度行うべきである。
- ・ 情報交換を行うことで困っている団体がほかの団体の工夫を参考にすることができる。

(志賀委員：(株)東北地域環境研究室 代表)

- ・ このような協議会で自分の住んでいる県だけを把握するのではなく、近隣の県のことを知ることで、さらに連携が生まれていくのではないかと。いかがか。

(白鳥委員：東北六県商工会議所連合会 常任幹事／(代理) 仙台商工会議所 中小企業支援部 部長)

- ・ 様々な人を巻き込んでいくことが大切であると感じる。
- ・ 街道という道と道を思い浮かべるが、風景と道と周りの人など色々な人が関係しており、様々な人が訪れることで地域は活性化していく。
- ・ 様々な人たちを巻き込むということは、多方面に広がっていくのではないかと。
- ・ 仙台では、定年を迎えた世代には市民講座の歴史が人気である。若い世代は、Instagramなど写真を見てお店や場所を決めている。様々な世代の意見を取り入れイベントなどに活かしていくのがいいのではないかと。
- ・ 様々な人を巻き込むことで広がりが見られ、町の活性化につながるのではないかと。

(鈴木委員：河北新報社 営業局次長兼業務推進部長)

- ・ 取組という観点から、コロナ禍のなかでキーワードとなるのは「繋がり」なのではないかと。
- ・ 今まで当たり前前に繋がりがあったことが難しくなってきた中で、いかに各団体の熱意やストーリーをアピールできるかが更なる発展に繋がるのではないかと。

(三林委員：(公社)日本観光振興協会東北支部 支部長)

- ・ のしろ白神の道の質疑応答にあったように、道路と鉄道は相反するものではなく、双方連携をして多くのお客様にお越しいただき魅力を感じていただくものである。今後とも、いろんなエリアで連携していただきたい。
- ・ 今年4月から9月まで、東北デスティネーションキャンペーンを行うものとなっており、多くのお客様にお越しいただき地域の魅力を伝えていきたい。
- ・ 昨年、NEXCOと協力し、サービスエリアと駅にあるスタンプとが一緒となってスタンプラリーを行った。今後も連携を深めて地域の活性化をしていきたい。
- ・ のしろ白神の道の発表にもあった分散したコースの実施のように今後withコロナを考慮し、工夫をし、いかに「安心」を提供できるかが大事なのではないかと。



か。

- ・最近スマートフォンで決済等をし、接触を減らすシステムを取り入れた。時代の変化に対応していき実践していき多くのお客様に魅力を感じていただきたい。

(稲林委員：(一社)日本旅行業協会東北支部 支部長 (代理) 事務局長)

- ・コロナ禍によりGoToトラベルが停止され旅行業に大きな影響を与えている。
- ・観光産業の一端では交通運輸業、旅行業、宿泊業、飲食業が徹底したガイドラインを打ち出しているが客足は戻っていない状況である。
- ・リモートなどが推奨されているが、リアルな体験できることが求められているとも思う。
- ・これからの旅行には「分散型」ということがキーワードとなってくるのではないか。今までは土日祝日に人が集中していたことから、平日に分散させることや日中に多くの観光客が訪れる場所では、時間帯をずらすことで新たな魅力を引き出せるのではないか。
- ・インバウンドについては、多言語化やwi-fiの整備が重要なため、今のうちに整備していただきたい。
- ・「自然」や「歴史」などのストーリーを上手に発信して旅行者を迎えていただければと思う。

(渋谷氏：桑折宿まちなか街道)

- ・みちのくおとぎ街道がある地域にはお宝がたくさんあると思っている。今後みちのくおとぎ街道と連携していきたい。今年の事務局はどこになるのか。

(黒金氏：みちのくおとぎ街道)

- ・ほかの団体と交流することが少なかったので、ぜひお願いしたい。
- ・今年度と来年度は、山形県南陽市、再来年は宮城県白石市に担当が移ります。

(渋谷氏：桑折宿まちなか街道)

- ・できれば、山形県と宮城県だけでなく福島県も入れていただきたい。
- ・風景街道の連携でも構わないが、その他でも連携していきたい。

(黒金氏：みちのくおとぎ街道)

- ・ありがとうございます。よろしく願いいたします。

(渋谷氏：桑折宿まちなか街道)

- ・伊達植宗は越後米沢街道・十三峠を開拓し、山城サミットと関わりがある。今年10月30日～31日に山城サミットを開催予定のため、ぜひお越しいただきたい。よい交流機会になると思う。

(遠藤氏：越後米沢街道・十三峠)

- ・承知した。
- ・今年度10月末～11月のはじめにかけて、十三峠を会場に映画「ごぜ」の上映会を行った。映画のロケ地に十三峠を選定していただいた。令和3年度に、ごぜが通った街道で映写会を予定している。歴史や文化を事業に取り入れていきたいと思っている。

(志賀委員：(株)東北地域環境研究室 代表)

- ・ それぞれの地域が頑張り、繋がりを強くすれば更にパワーが増すのではないか。
- ・ 特に、余力を残している周辺の団体と協力をするとどうなるのかという発想が大切なのではないか。

(藤崎委員：(一社)東北経済連合会 副会長)

- ・ 前年は会場に資金面で来れないことがあったが、webを利用することで各団体が参加でき、いいと思った。
- ・ 表彰について、21ルートから1ルートだけというのは少ないと思うがいかがか。次回から1つではなく2つでもいいのではないか。

(小田原委員：東北地方整備局 道路部長)

- ・ 様々な視点からの評価も必要であると思う。次回、評価のやり方について検討していきたい。

#### (4) 表彰

協議会委員による審査会の審査の結果を受け、のしろ白神の道が表彰された。

##### ① 優秀活動賞

【ルート名】

のしろ白神の道

【パートナーシップ名】

のしろ白神ネットワーク

【講評】

- ・ 「木の薫る道づくり」と題し、地元の特産を活した活動を、幅広い年代で行っている。幅広い年代の活動は、継続性のカギとなる。
- ・ 特に「市民まちづくりフォーラム」は、市民の方々が全国の風景街道やまちづくりについて学ぶことが出来る場となっている。
- ・ さらに、秋田杉をいろいろな場面で活用したイベント、HP、SNS等を活用し、のしろ白神の魅力の情報発信を積極的に行っている。

このような「のしろ白神の道」の魅力の創出や発信、地域活性化への意欲が継続して取り組まれていることが評価された。

#### (5) 閉会

## 6. 当日の様子

### (1) 全体の様子

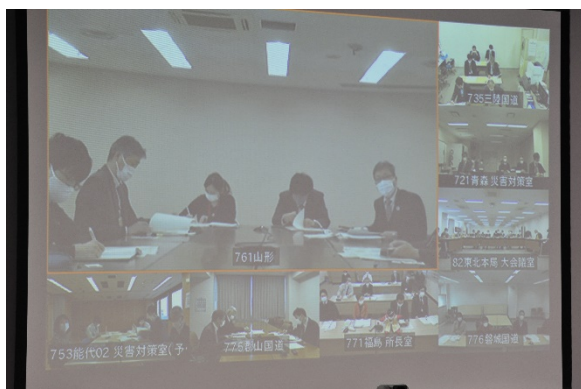


### (2) 活動報告の様子



のしろ白神の道  
(のしろ白神ネットワーク)

能登 祐子氏



みちのくおとぎ街道  
(国道 113 号観光推進協議会)

黒金 千穂氏



桑折宿まちなか街道  
(奥州・羽州街道「桑折宿」パートナーシップ)

畠腹 桂子氏・渋谷 浩一氏



(3) 意見交換の様子 (委員)

場所：東北地方整備局



(一社) 東北経済連合会 副会長  
(協議会会長) 藤崎 三郎助氏



(株) 東北地域環境研究室 代表  
志賀 秀一氏



(一社) まちの魅力づくり研究室 理事  
東京大学 名誉教授  
堀 繁氏



東北六県商工会議所連合会 常任幹事  
(代理) 仙台商工会議所 中小企業支援部 部長  
白鳥 裕之氏



河北新報社 営業局次長兼業務推進部長  
鈴木 裕氏



(公社) 日本観光振興協会東北支部 支部長  
三林 宏幸氏



(一社) 日本旅行業協会東北支部 支部長  
(代理) 事務局長  
稲林 誠司氏



東北地方整備局 道路部長 小田原 雄一氏